

2023年(令和5年)11月28日(火曜日)

富士ニュース

富士宮高校会議所の「第57回緑化祭花木」の「スマスマス元肥」メンバーや、このほど富士宮ワイズメンズクラブの定例会に招待され、持続可能な地域づくりを目指す実践活動を発表した。市役所で

スマスマス元肥の普及促進 高校会議所が取り組みPR

富士宮高校会議所の「第57回緑化祭花木」の「スマスマス元肥」メンバーや、このほど富士宮ワイズメンズクラブの定例会に招待され、持続可能な地域づ

くりを目指す実践活動を発表した。市役所で奈さん(富士宮北高)が

大きな柱とするアート(音楽・絵画)を通して富士宮を元気に!とSDGs実践スマスマス元肥(げんび)を使って富士宮を元気に!」の二つのプロジェクトを紹介した。

このうち、スマスマス元肥はニジマスの残渣(ざんさ)と朝霧牛の



一、自分を愛せように情人を愛そう
二、青少年のために「MILAT」つくそう
三、老若男女をもって園芸競争をおこなう
四、農務を楽しんでその精神を育むことおこう
五、各自の口語による「花の第一指揮者」

不成立の年後、令和3年11月、農業本部付2,655円

富士宮ワイズメンズクラブ定例会で発表(上)
緑化祭花木市への出店(下) || 提供写真

牛ふんを原料としたオリジナル堆肥。普及活動を進める中、耕作放棄地の解消に役立てる事業にも発展している状況を説明した。

緑化祭花木祭では、スマスマス元肥のPRに励むとともに、焼き芋を販売した。焼き芋を焼き菓子の「ブリュレ」にする調理実演も盛り込んで多くの関心を集めた。「スマスマス元肥は今夏からJAふじのみや資材館でも販売しているが、まだまだ認知度が低く、今回初めて知ったという人が多かった。さらなる普及に努める」としている。